

書道を通じて人生 いきいきと！

29期 竹本治男（大鶴）

私が住んでいます桜井市の高齢者福祉センター「竜吟荘」^{りゅうぎんそう}で、お年寄りの人に書道を教えて今年で20年になります。現在、最高齢95歳の方を筆頭にお元気で楽しく学習しています。



新型コロナウイルス感染拡大により、奈良県文化会館で開催される「全国シルバー書道展」も中止になり、発表の場がなくなりがっかりですが、何とか発表の場をと考え、「竜吟荘」のロビーをお借りして1ヶ月間、展示することにしました。私の日展入選作品も展示させていただきました。近所の人からうれしい声をたくさんいただき、ご好評を得てうれしく思っています。平均年齢83歳とは思えない立派な作品ばかりです。

「教えることは教えられることである」と言われていますが大変勉強になり皆さんから元気をいただいています。

有名な哲学者、鈴木大拙先生が90歳になられたおり、ご自宅の130段の階段を上がって帰宅される様子を見た人が「大変でしょう」と聞かれると「一步一步上がれば何でもないぞ。一步一步努力すればいつの間にか上がっている」と話されたという逸話があります。私も努力を積み重ね精進する覚悟です。

2021年（令和3年）9月1日記す





